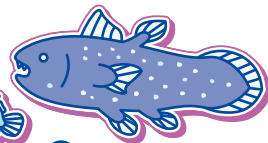




これから 福島県の 歴史をつくる みなさんへ!



キビタン©福島県



福島県



私たちのふるさと福島県は、明治9年(1876年)に誕生しました。
福島県が歩んできた道のりをいっしょにふりかえってみましょう。



戊辰戦争という大きな戦いの後 新しいまちづくりに向けて千カラを合わせた

今から150年ほど前、福島では戊辰戦争という大きな戦いがありました。まちは焼けて、人びとのくらしはとても大変になりました。しかし、みんなで力を合わせて、まちを立て直し、よりよい福島県をつくろうとがんばりました。



提供/会津若松市



何もな原野に水を引く ビッグプロジェクトを立ち上げた

昔、郡山市は、雨が少なく、米が少ししか作れない場所がありました。そこで人びとは、50キロ先にある猪苗代湖という湖から水を引く安積疏水をつくりました。たくさんの人が力を合わせ、まちは大きく成長しました。



磐梯山が噴火した後、多くの人に来て もらえる観光地をつくり上げた

今からおよそ140年前の1888年、磐梯山が噴火し、多くの家が流され、田や畑は土砂に埋もれました。山の形が変わるほどの大きな噴火でしたが、人々はあきらめずにこわれた土地を元にもどし、噴火でできた湖や沼を観光地に変えました。今では、多くの人が訪れる場所になっています。



東日本大震災・原子力災害を乗り越え、 新しい産業を次々とつくり出した

2011年の東日本大震災では、大きな地震と津波、そして原子力発電所の事故でこれまで住んでいた場所で生活できなくなったり、仕事を失ったりした人がたくさんいました。けれども福島の人々はあきらめず、新しいエネルギーやロボット、農業や観光など、未来へつながる産業を生み出しています。



未来のことを考えて再生可能エネルギーに 真剣に取り組んでいる

地震や原子力発電所の事故をきっかけに、福島県では太陽、風、水、バイオマス、地熱などの再生可能エネルギーや、水素を広めることに力を入れています。家庭や学校、工場など、県全体で取り組み、「再生可能エネルギー先駆けの地」の実現をめざしています。



福島県の挑戦と誇りの歴史

福島県が誕生して現在までの150年の歩みを見てみよう！

福島県の誕生

150年前に、旧福島県・磐前県・若松県の3つの県がひとつになって、ほぼ今の福島県の形が誕生しました。



磐梯山噴火

今から140年ほど前の明治21年、福島県の磐梯山が大きな音とともに噴火しました。山の形が変わり、川がせきとめられてたくさんの湖ができました。



北側から磐梯山を見ると、噴火の跡の様子がわかります。

水郡線全線開通

県南のまちをつなぐ鉄道として、水郡線が開通しました。



この路線が、郡山市と茨城県水戸市を結ぶ鉄道だよ！

常磐ハワイアンセンターオープン

炭鉱の仕事が減ったいわき市で、みんなが力を合わせて新しい観光地をつくりました。



常磐ハワイアンセンターがオープン！

相馬港重要港湾に指定

相馬港が重要港湾に選ばれ、船を使った人や物の行き来が盛んになりました。



福島空港開港

須賀川市と玉川村にまたがり空港ができ、飛行機で大阪や北海道など遠くのまちへ行きやすくなりました。



第50回国民体育大会(ふくしま国体)開催

全国からたくさんの選手が集まり、県内各地でスポーツ大会が開かれました。



ジャパンエキスポイン福島2001(はつくしま未来博)開催

未来のまちや新しい科学を体験できるイベントが開かれ、たくさんの人でにぎわいました。



常磐自動車道全線開通

浜通りと東京を結ぶ道路が完成し、これまでより車での移動が便利になりました。



只見線全線開通

2011年の大雨で橋が流され、只見線は長い間使えませんが、この年、元にもどりました。

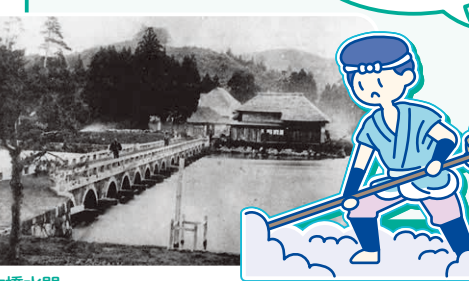
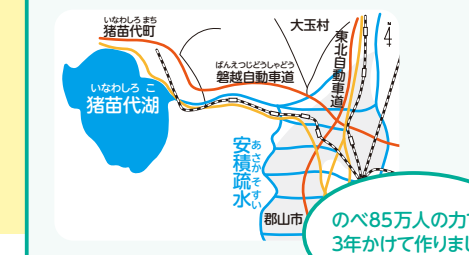


11年ぶりに全線が開通したよ！

1876年 明治9年 1882年 明治15年 1887年 明治20年 1888年 明治21年 1919年 大正8年 1929年 昭和4年 1934年 昭和9年 1939年 昭和14年 1951年 昭和26年 1965年 昭和40年 1966年 昭和41年 1974年 昭和49年 1975年 昭和50年 1982年 昭和57年 1993年 平成5年 1995年 平成7年 2000年 平成12年 2001年 平成13年 2011年 平成23年 2015年 平成27年 2021年 令和3年 2022年 令和4年 2026年 令和8年

安積疎水完成

猪苗代湖の水を郡山市の方へ運ぶための長い水路を作りました。生活が豊かになりました。



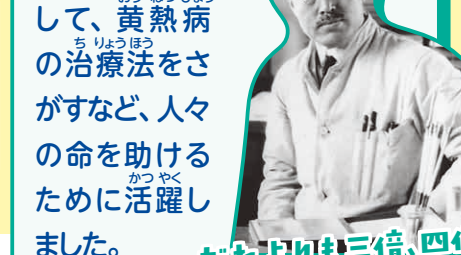
東北本線開通

郡山～福島間に電車が走るようになり、人も物も集まって、まちはますますにぎやかになりました。



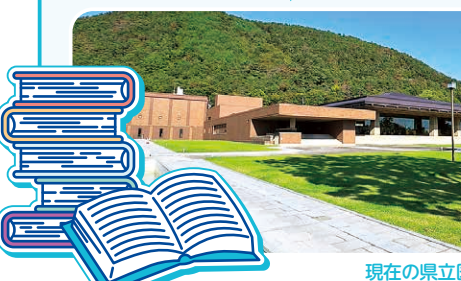
野口英世博士が黄熱病の研究論文を発表

病気の研究をして、黄熱病の治療法をさがすなど、人々の命を助けるために活躍しました。



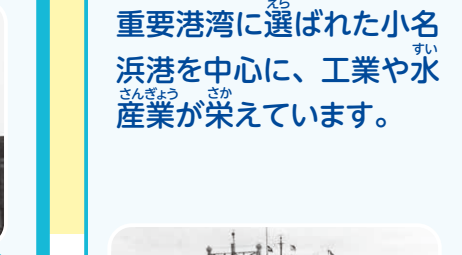
県立図書館開館

みんなが本を読んだり、調べものをするのに役立つ図書館ができ、学びの場が広がりました。



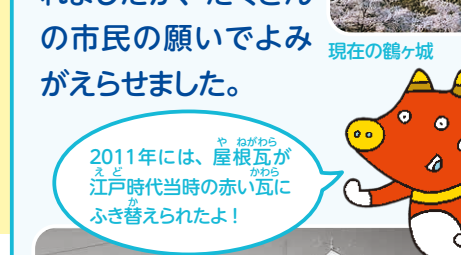
小名浜港重要港湾に指定

重要港湾に選ばれた小名浜港を中心に、工業や水産業が栄えています。



鶴ヶ城天守閣再建

1874年に取りこわされましたが、たくさんの市民の願いでよみがえらせました。



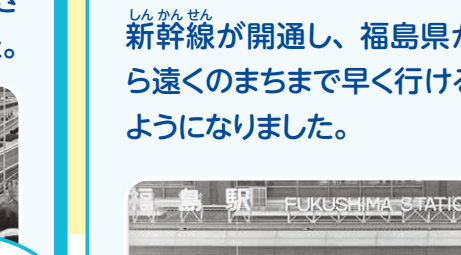
東北自動車道県域全線開通

福島県を通る高速道路がつながり、車での移動や物の行き来がぐんと便利になりました。



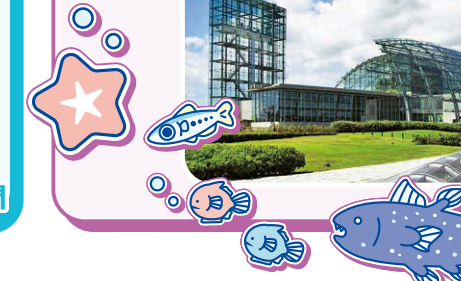
東北新幹線開業

新幹線が開通し、福島県から遠くのまちまで早く行けるようになりました。



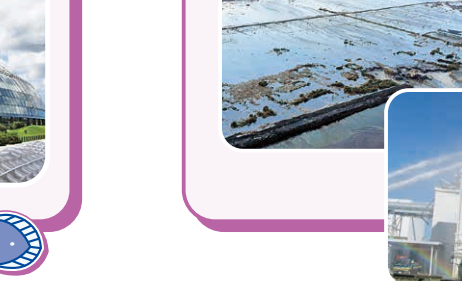
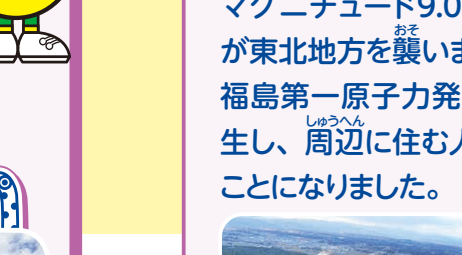
アクアマリンふくしま開館

海と生き物、学べる水族館です。開館から47日で入館者数が50万人を突破しました。



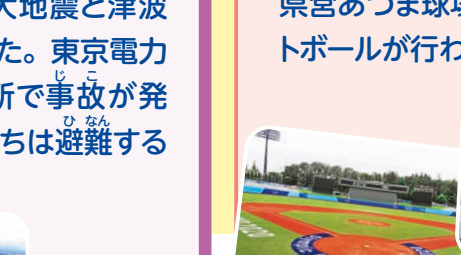
3.11東日本大震災・原子力発電所事故発生

マグニチュード9.0の大地震と津波が東北地方を襲いました。東京電力福島第一原子力発電所で事故が発生し、周辺に住む人たちは避難することになりました。



東京オリンピック開催

東京でオリンピックとパラリンピックが開かれ、福島県からも選手が出場して活躍しました。県営あづま球場では、野球・ソフトボールが行われました。



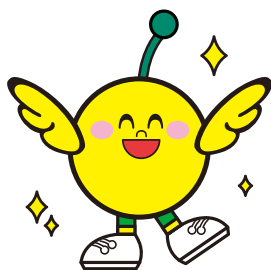
福島県が誕生して150周年！

いろいろな出来事があった150年。これからの福島県の歴史をつくるのは、みなさんです。



一人一人の思^しと行^{こう}動^{どう}が
福島県の歴^{れき}史^しになります。

福島県は、長い歴史の中でたくさんの困^{こん}難^{なん}を乗り越えてきま
した。大きな戦^{せん}争^{そう}や自然災害^{しぜんさいがい}、原子力災害^{げんしりよくさいがい}などもありました
が、そのたびにみんなの力を合わせて前に進んできました。
福島県の未^み来^{らい}はみなさんの手の中にあります。どんなこと
があっても挑^{ちょう}戦^{せん}する気持ちをわすれず、福島県に生まれた
こと^{こと}に誇^{ほこ}りをもって、みんなが笑^え顔^{がほ}になれるような未来を
つくっていきましょう。



〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16(本庁舎5階)

福島県文化スポーツ局文化振興課

TEL 024-521-8633